

2月ほけんだより

♪担当♪かわさきけいこ

先月は感染性胃腸炎のり患者が急増し、ご心配をおかけしました。園内では日頃から清掃だけでなく、トイレはもちろん使用したおもちゃに至るまで洗浄や消毒を行っておりますが、保健所の担当者も言うように園内にウイルスが入り込んでしまうとその感染拡大を抑え込むことは非常に困難です。今後とも、いち早くお子さんの体調不良に気が付けるよう、ご家庭での体温、食欲や排便に変わりがあれば必ず職員にお知らせくださるよう重ねてお願いいたします。

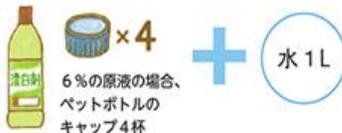
吐いた！
しっかり消毒、ゴミは
密封して捨てましょう

1 処理に必要なものを準備する

まず、換気します。消毒液やペーパータオル、布や雑巾（捨てられるもの）を用意し、使い捨ての手袋やマスクをつけます。

消毒液の作り方

家庭用塩素系消毒薬



2 外から中心に向かってふき取る

吐いたものはペーパータオルなどで外から内側に向かってふき取り、ゴミはポリ袋に二重に密封して捨てます。

汚れた衣類は……

汚れを取り除いて消毒液につけておきましょう。



3 消毒した後、水ぶきする

吐いたもので汚れたところを、消毒液を浸した布で外側から中心に向かってふき取ります。その後、水ぶきで消毒薬もふき取ります。

4 よく手を洗う

使い捨ての手袋やマスクもポリ袋に密封して捨て、手をよく洗いましょう。

子どもの花粉症について

こんなサインに
注意

最近は、花粉症と診断されるお子さんも増えてきました。去年も春先にアレルギー症状がみられたお子さんは、早めにお医者さんに相談しましょう。

花粉症の 三大症状

くしゃみが出る

鼻水・
鼻づまりが続く

目を
こする

● 口をいつも開けている

しつこい鼻づまりのために、口呼吸になります。乾いた空気が口からのどに入るため、風邪などをひきやすくなるおそれがあります。



● なかなか寝ない

● 日中元気がない、きげんが悪い
息苦しさのために、よく眠れなくなります。そのため、昼間に元気に遊べなかったり、きげんが悪くなったりします。小学生になると、授業に集中できないなどの問題が起こってくることも。

花粉と接する機会を減らそう

花粉症対策は、花粉に触れないようにすること。花粉に接する機会が多いほど、花粉症になる可能性が高くなります。花粉が増えるシーズンは、治療と予防をかねて、身の周りの花粉との接触を減らしましょう。

花粉を家に持ち込まないために

外干ししない

花粉が多く飛ぶシーズンは、洗濯物を外に干すのを控えましょう。

玄関で脱ぐ

外から帰ったら、コート類は玄関で脱いでつすなど、室内に花粉を持ち込まないようにしましょう。

服からも取り除く

衣類をはたくと、花粉が舞い散って逆効果です。粘着テープなどで取り除く、花粉が付きにくいツルツルの素材の上着を選ぶなどがおすすめです。

